

前回（11/11）におけるご意見

① 栗東駅周辺のまちづくりの方向性（にぎわい）について

意見
・駅前公共用地単体ではなく周辺地域全体を含めてのまちづくりの考え方が重要である。
・住民の数は相当に多い。全ての住民が同じ方向を向いているわけではないが、住民は本当に南草津のような賑わいの形を望んでいるのだろうか。
・当初、栗東駅が開業した当時は、マンションが建ち並ぶ住宅街を想定したように聞いている。パチンコや深夜の飲食店の立地を避けてきたのは、静かなまちづくりのイメージが最初からあったのだろう。夜遅くまで賑やかな駅前のまちづくりを期待したわけではなかったと思う。今後も既存の住環境を重視するのであれば、駅前であっても、住環境を阻害するものは、抑制する必要がある。
・死んだような静かな町で良いのか、という意見もある。賑わいとは何か。賑わいを創出するにしても既存の住民の住環境に配慮すべきである。
・大きなまちづくりの視点から検討することが重要。対症療法でなく、長いスパンで本質的なまちづくりに取り組むべき。
・栗東駅は、市の玄関口であり、顔である。まちの活性化のために駅が設置されてきた。市全体として駅周辺をどう考えるか、の議論が必要である。
・ウイングプラザからテナントが出ていっているのは寂しい。駅前で商いをするテナントがあることが、賑わいだと思う。地代などの高さなども原因ではないだろうか。
・栗東市全体から俯瞰して、この地域の役割を考える必要がある。

② 栗東駅東口公共用地について

意見
・駅前公共用地も広く場所を取っていただいているが、人が集うような空間となっているのか、考える必要がある。
・栗東駅前に人が集うような空間が欲しい。当初は滝が考えられたけれども、水辺があれば、人が集まるというものではなかった。
・第一に駅利用者を増やすことが重要だと考える。このため、栗東駅の利用実態を調べてはどうだろうか。
・駅前公共用地は、駅に接した一等地であり、立地条件にふさわしい機能を導入すべきである。不必要な公共施設を整備する必要はない。民間の施設の中に一部公共的な機能がある、という考え方が良いのではないだろうか。

③ 検討の進め方について

意見
・住民の意向も把握していただく必要がある。住民の心情をよく考えていただきたい。
・住民の意向調査をするなどの取り組みが必要だと思う。多くの皆さんの意見を聞くのであれば、住民の関心を喚起することが重要である。
・この会議の意見だけでなく、広く住民に意見を聞くことが重要である。
・我々委員の意見を求めたり、住民の意見を聞くことも大事だが、まずは市としてのビジョンを聞きたい。
・住民のニーズは、世代によって様々に異なるなど、多様化しており、調整は困難である。安全、安心を確保しながら一定の賑わいを創出していくことが重要であり、市と

<p>しての考え方、基本理念を持って市民に十分に説明し、理解を得るような進め方をし てはどうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・もう1回の開催だけでは、議論を尽くすことはできないので、進め方は再検討をいた だきたい。意見を聞いて市としてしっかりと基本方針を示して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・この検討会議も名前が変わり、検討範囲も広がって継続も考えられるため、委員長の 選任も検討すべきではないだろうか。

④ 検討会議のあり方 (市の回答)

市の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・検討会議の皆さんのご意見を踏まえて市としての考え方を検討していきたい。多様な 住民意見の集約方法としてアンケートや周知説明など、幾つかの方法が考えられる。 最適な方法を検討して実施していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・皆様からいただいた全てのご意見を反映できるものでもない。様々な方法でご意見 をお聞かせいただき、それらを踏まえて市としての方向性を整理し、基本方針(案)と して提案したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・検討会議の開催回数や委員長の選任などについては、内部で検討させていただき次回 にお諮りしたい。

⑤ その他

《コミュニティについて》

意見
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の皆さんは静かなまちを好まれて移り住んだ方がほとんどである。このため、以 前は、僅かなことでも苦情がきていた。 しかし、3年前から祭りでの苦情は0件となっている。最近、子供も増え、コミュニ ティが成熟することで騒がしさへの感覚が変わってきた。
<ul style="list-style-type: none"> ・マンションにも近所づきあいがある。地域には子供はたくさんいて、子育て世代同志 のつきあいはある。まるで昔ながらの長屋の付き合いのような近所づきあいがあると いう話を聞いたことがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ここで生まれ育った子供たちが増えてきている。児童館を利用する子供も多くいる が、地域の情報を余り知らない住民も多いのではないだろうか。ウイングプラザに入 居する良い施設の情報を提供し、活用と交流を促進すべきである。学校や自治会など を通じて情報発信してはどうか。

《具体的なアイデアについて》

意見
<ul style="list-style-type: none"> ・栗東駅で多くの人に降りていただく必要がある。栗東八景や中山道などの資源を案内 する施設が栗東駅前に欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・栗東駅周辺には街道文化があり、金勝の方には仏教文化などの資源もある。また、J R Aとの連携なども考えられるのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・安全面を考えると駅前の交番には常時人がいるべきである。
<ul style="list-style-type: none"> ・(都)大門野尻線の拡幅整備がなかなか進まない状況だが、活性化には動線が必要であ り、JRで分断されている東西の動線、道路の整備が重要である。